

令和7年12月3日
環境政策部
気候危機対策課

家庭用省エネ支援機器の有効性実証実験の結果について

1 主旨

区では、家庭部門の脱炭素化に向け、省エネ行動を支援する機器・サービス（家庭用省エネ支援機器）を使い、各家庭で自動的・自発的に省エネ行動が継続できるか、機器・サービスが有効であるか、東京都によるスタートアップとの連携事業「UPGRADE with TOKYO」を活用し、協働事業者とともに実証実験を行った。この度、実証実験の結果を報告する。

2 経緯

令和6年12月	協働事業者の決定 環境・災害・防犯・オウム問題対策等委員会に報告
令和7年 5月	モニターの募集
6月	モニターの抽選、機器送付、説明会の実施
7～8月	実証実験期間（モニターによる機器使用）
9月	モニター向けアンケートの実施
10～11月	実証結果による効果分析及び結果をモニターあてに報告

3 実証実験概要

(1) モニター参加者数

モニター参加申込のあった910世帯の中から世帯人数、住居形式、年代等を考慮し、400世帯を抽選により決定、省エネ機器を送付した（その後、16世帯より辞退の申し出）。機器の設置・設定等を支援するため、LINEによる問合せ対応や機器設置説明会を実施した。なお、設定未完了者などがいたため、集計対象者数は320世帯であった。

(2) 実証内容

※別添1を参照

機器の利用による電気使用量削減効果について一般的な家庭の電気使用量水準との比較による確認、及び参加者への行動変容を促す通知の効果の3つの実証を、それぞれで組み合わせたグループを設け、グループごとに比較検証を行った。

① 電力使用量の見える化機器（Nature Remo E2 lite）の提供

家庭の消費電力量をリアルタイムにスマホで確認できる機器利用による電気使用量の削減効果を検証した。

② 家電の自動制御機器（Nature Remo Lapis）の提供

エアコンを自動制御する機器利用による電気使用量の削減効果を検証した。

③ 行動変容を促す通知

定期的に行動変容を促す通知を送ることによる効果や見える化機器・自動制御機器を併用して使用することによる効果について検証した。

4 実証・分析結果

※別添2及び別添3を参照

(1) まとめ

本実証において、区民の省エネ行動に対するデジタル機器の一定の導入効果を確認した。

- ・ 「見える化」「自動制御」「行動変容通知」すべてを組み合わせたグループ4は、最も良好な結果となった。
- ・ 全体成果：実証期間中（7・8月）の電力消費量は、比較対象の一般世帯（東京ガスDR参加者）に対し、絶対量で2.5%低く、6月からの季節変動による上昇幅を4.5ポイント抑制した。
- ・ 「見える化」の質：単に数値を見るだけでなく、過去比較やグラフ分析を行う層で高い節電効果が見られた。一方で、リアルタイム確認のみの層は節電効果が限定的であった。
- ・ 自動制御の有効性：オートエコ機能の利用時間は節電量と正の相関を示したが、快適性とのトレードオフが課題として浮き彫りになった。
- ・ 通知（ナッジ）の効果：定期的な通知は、閲覧者の節電意識を維持させる「きっかけ」として有効に機能した。

(2) 結果及び分析

① 全体及びグループ別の省エネ効果

実証参加者全体と一般世帯（比較群）の電力消費量の推移を比較した結果は以下の通りであった。【p. 10 表7 参照】

項目	7・8月平均消費電力	6月比変動率 (上昇幅)
本実証参加者	376.7kWh	+18.89%
一般世帯（比較群）	386.4kWh	+23.37%
差異	-2.52%	-4.48 ポイント

各実証グループと一般世帯（比較群）の電力消費量の推移を比較した結果は以下の通りであった。【p. 10 表6 参照】

項目	6月比変動率 (上昇幅)	差異
G1：電力量見える化	+26.42%	+3.05 ポイント
G2：電力量見える化 +行動変容通知	+20.71%	-2.66 ポイント
G3：機器制御 +行動変容通知	+18.67%	-4.70 ポイント
G4：電力量見える化 +機器制御 +行動変容通知	+14.56%	-8.81 ポイント
一般世帯（比較群）	+23.37%	—

- ・ G4（見える化+行動変容通知+機器制御）は、一般世帯と比較して大幅に変動比が低く、

最も良好な効果を確認した。電力量の確認に加えて、具体的な節電行動として機器制御との組み合わせが効果的であることが示唆される。

- ・ G3（機器制御+通知）は、2番目に良好な結果であり、一般世帯と比較して抑制効果が確認された。
- ・ G2（見える化+通知）は、3番目に良好な結果であり、一般世帯と比較してやや抑制効果が確認された。
- ・ G1（見える化）は、節電効果が最も低調であった。機器を配布するだけでは行動変容に至りにくいことが示された。

② 「見える化」機器の効果分析

アンケートと実績データにより、機器の利用方法によって節電効果に大きな差が出ることを確認した。

- ・ 「前週・前月比較」や「グラフ表示」を活用した層は、6月からの電力上昇幅を平均より低く抑えていることから、このような利用において効果があることを確認した。
一方で、「リアルタイムの電力使用量」を見るなどを重視した層は、実は節電効果が低かった。【p. 13 表 10 参照】
- ・ 「見える化が効果的だった」と回答した層の実際の消費電力は、そうでない層よりも増加している傾向が見られた。主観的な満足感と実際の削減実績は必ずしも一致しないことが確認できる。【p. 16 表 17 参照】

③ 「自動制御」機器の効果分析

エアコンの「オートエコ機能」（エアコン温度の自動調整機能）は、強制力のある節電手段として機能したことを確認した。

- ・ 機能を利用していない層と比較して、利用している層は電力消費の増加率が低く抑えられていることが確認された。【p. 12 表 9・図 2 参照】
- ・ アンケートでは「勝手に温度が変わって暑い」「不快で解除した」という声が散見された。
【p. 45 表 23 参照】

④ 「行動変容通知」の効果

アプリやメールによる週次の節電を促す通知は、行動変容のスイッチとして機能したことを見た。

- ・ 通知を「毎回見た／大体見た」層は、「見ていない」層に比べて消費電力の伸びを抑えられている。【p. 11 表 8 参照】
- ・ 参加者は具体的な通知コンテンツ（節電テクニック等）自体を評価しているわけではないが、通知が届くこと自体が「省エネを意識するリマインド」として機能したと考えられる。
【p. 43 図 21・表 21 参照】

（3）アンケート結果からの考察

- ・ 「電気代を安くしたい」という動機で参加した層は一定のボリュームがあり、実益を求めている。【p. 22 図 1・表 1-1 参照】
- ・ 「環境に配慮したい」層は、もともとの電力消費が少ない傾向にあるが、今回の実証での削減幅（変化率）は他の動機層と大差なかった。既に省エネ行動が習慣化している可能性がある。【p. 15 表 14 参照】

※アンケートの声（抜粋）【p. 45 表 23 参照】

肯定的意見：「ペットのための室温管理と節電が両立できた」「遠隔操作が便利」「無駄な待機電力に気づけた」

否定的意見：「Bルート設定が難しすぎる」「説明書がわかりにくい」「高齢者にはハードルが高い」

- 参加者の不満の多くが「Bルート設定の煩雑さ」に集中した。ID/パスワードの発行手続きや接続エラーは、一般層への普及におけるボトルネックになる。

5. 実証結果を受けた考察

- 見える化を普及させるためには、Bルート申請のサポート体制強化や、コストがかかる機器利用前提ではない簡易な方法も考えられる。
- 機器を普及して終わりにするのではなく、継続的なプッシュ通知やレポート配信をセットにする必要がある。「今、使いすぎている」あるいは「先週より減った」というフィードバックが行動変容の鍵となる。
- 自動制御においては、一律の省エネ設定ではなく、ユーザーの好みに合わせた「快適性重視」「節約重視」の微調整機能や、不快指数に基づいた柔軟な制御ロジックが求められる。
- 「リアルタイム数値」よりも、「類似世帯との比較」や「目標との乖離」を見せる方が、ゲーム性を持って節電に取り組める可能性がある。アンケートでも他世帯比較への要望が高かった。

6 今後の方向性

本実証を通して、電力使用量見える化機器（Nature Remo E Lite）とスマートリモコン（Nature Remo Lapis）の使用による省エネルギー効果や省エネ行動の継続性については一定程度の効果を確認できた一方で、アンケート結果からは機器設置・設定の煩雑さ、価格による導入ハードル等の課題も確認された。

今後は、「CO₂排出量の削減量」及び省エネ行動をきっかけとした「高度な脱炭素行動実践世帯数」という具体的な成果を獲得していくため、本実証の結果を踏まえ、より効果の高い省エネ推進施策の構築に向けて検討する。

7 公表資料

次の資料を区ホームページにて公表する。

- (1) 実証事業結果報告（案）
- (2) アンケート結果（案）

別添1

実証内容について

① 電力使用量の見える化機器

Nature Remo E2 lite

一台で、家庭の消費電力量をリアルタイムにスマホでチェック。日、週、月、年ごとにグラフで比較することもできる電力モニタリングシステム。



② 家電の自動制御機器

Nature Remo Lapis

自動でエアコンを操作し節電を実施。利用者の操作を学習し「ちょうどいいバランス」を自動調整するスマートリモコン



③ 行動変容を促す通知

定期的に節電などの行動変容を促す通知をメール送信する

※上記の3つの実証を以下のグループに分けて実証を行った。

グループ1（G1）：電力使用量の見える化機器

グループ2（G2）：電力使用量の見える化機器+行動変容を促す通知

グループ3（G3）：家電の自動制御機器+行動変容を促す通知

グループ4（G4）：電力使用量の見える化機器+家電の自動制御機器

+行動変容を促す通知

UCHIKARA プロジェクト

手軽に省エネ生活を実践する実証事業

結果報告（案）

Nature 株式会社

実施概要

実証は以下の通りの要項で実施した。

実証期間： 2025年7月～8月

提供機器：
Nature Remo E2 lite（電力見える化機器）
Nature Remo Lapis（スマートリモコン）

参加者は事前に4つのグループに振り分け、提供する機器や節電通知の有無などの条件を分けて比較実証を行った。

グループごとの実施条件は下記の通り。

表1 実証グループ実施条件

グループ	提供機器	節電の通知
G1: 電力量見える化	Nature Remo E2 lite	行わない
G2: 電力量見える化+行動変容通知	Nature Remo E2 lite	行う
G3: 機器制御+行動変容通知	Nature Remo Lapis	行う
G4: 電力量見える化+機器制御+行動変容通知	Nature Remo E2 lite Nature Remo Lapis	行う

G3は Nature Remo E2 lite を提供しないため、B ルートでの消費電力量取得ができない。そのため、東京ガスの DR プログラム参加者を G3に振り分け、東京ガスより A ルートのデータを取得して評価した。

G3以外のグループに関しては Nature Remo E2 lite にて B ルートで取得した電力量データを集計し、節電実績の評価を行った。

機器登録状況

グループごとの機器登録状況および最終的な参加者総数は下表の通りとなった。

Nature Remo E2 lite および Nature Remo Lapis ともに、最終的に8割～9割の参加者が機器のセットアップを完了した。Nature Remo E2 lite の場合、電力量を取得するためにはさらに B ルートの設定も行う必要があるが、B ルート設定まで含めると 80.1% (230/287) の完了率となった。

なお当初予定では実証参加者は400名を募り各グループに100名を割り振る予定であったが、16名の辞退者が出てため、最終的な参加人数は384名となった。

表2 機器登録状況と参加者総数

実証グループ	Nature Remo E2 lite	B ルート設定	Nature Remo Lapis	参加者数小計	参加者数総数
G1	登録なし	-	(提供なし)	11	95
	登録あり	未完了	(提供なし)	11	
		完了	(提供なし)	73	
G2	登録なし	-	(提供なし)	5	95
	登録あり	未完了	(提供なし)	11	
		完了	(提供なし)	79	
G3	(提供なし)	-	登録なし	4	97
	(提供なし)	-	登録あり	93	
G4	登録なし	-	登録なし	6	97
			登録あり	4	
	登録あり	未完了	登録なし	3	
			登録あり	6	
		完了	登録なし	4	
			登録あり	74	

有効な消費電力量データ数

参加世帯の消費電力量のデータを取得するためには、G1、G2、G4の場合はBルートの設定まで完了させる必要がある。前述の通り230名の参加者がBルートの設定まで完了し、データの取得が可能な状態となっていた。なお、Bルートの設定完了数は下記の通りの進捗となっており、6/20時点で過半数となる123名の登録が完了している。

図1 Bルート設定完了数の推移



本実証では7月8月の節電を呼びかけてその効果を検証する。節電量の評価にあたっては、本実証に参加しない一般世帯との評価も行うが、節電グループごとの成果を見ていくにあたっては母集団が少なくなりすぎるため、それぞれのグループの実証開始前後の消費電力量を比較するほうが適切であると考えた。

そのため、6月の消費電力に関しても、十分なBルートサンプルが確保できる21日～30日のデータを使用して評価することとした。

下記の条件を満たす参加者のデータを、それぞれ6月、7月、8月の集計に含めることとする。

6月分: 6/20までにBルート設定が完了している

7月分: 6/30までにBルート設定が完了している

8月分: 7/31までにBルート設定が完了している

最終的なデータ数は下表の通りとなった。

表3 有効な消費電力量データ数

実証グループ	参加者数	6月集計対象	7月集計対象	8月集計対象
G1	95	37	52	70
G2	95	41	65	77
G3 (Aルート)	97	97	97	97
G4	97	44	64	76
Total	384	219	278	320

前述の参加者統計といつか矛盾点があるが、その原因は下記の通り。

6月20日時点でのBルート設定完了総数は123であったが、そのうち1名はBルートの取得が止まってしまっていたため6月の集計対象には含まれず、結果1名少ない122（G3も含めた全体合計は219）となっている。最終的にBルート設定を完了した参加者は230であるが、上述の6月中の離脱者含め系7名の離脱が発生していたため、8月の集計に含まれる参加者は223（G3も含めた全体合計は320）となった。

6月のデータの妥当性について

6月のデータはサンプル数が少ないが、全体の半数強は取れていること、および以下の世帯タイプ区分で分割した際の構成比が母集団と著しい乖離がないことから、信憑性に問題はないものと判断した。

表4 世帯タイプ区分

世帯タイプ1	1~2人・戸建
世帯タイプ2	3人以上・戸建
世帯タイプ3	1~2人・集合
世帯タイプ4	3人以上・集合

表5 実証グループ・世帯タイプごとの6月集計対象数および集計対象全体数

実証グループ	世帯タイプ	6月集計対象	全体
G1	1	4	9
	2	4	9
	3	22	39
	4	7	13
G2	1	7	12
	2	5	13
	3	27	46
	4	2	8
G4	1	10	16
	2	7	12
	3	24	45
	4	3	4

実証結果

各実証グループごとの結果は下表の通り。

各月とも1世帯・1ヶ月あたり消費電力量を算出している。6月については21日以降のデータが対象となるが、日数で割り戻して1ヶ月単位の消費電力としている。A ルートで電力量を取得している G3 の参加者についても、条件を合わせるため同様に6月21日以降のデータから1ヶ月分を算出。

実証前の6月の消費電力量と、実証期間中の7月8月の平均値を比較し、その上昇量が6月の数値と比してどの程度であったかを比較することで、節電の成果比較を試みた。

表6 実証グループごとの消費電力量と変動比

実証グループ	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
1	321.4	371.4	441.1	406.3	84.9	26.42%
2	291.7	336.0	368.3	352.2	60.4	20.71%
3	328.0	371.3	407.2	389.3	61.2	18.67%
4	311.5	343.4	370.3	356.9	45.3	14.56%
全体	316.8	356.8	396.5	376.7	59.8	18.89%

比較対象の一般世帯について

また比較対象の一般世帯の数値として、今夏の東京ガス DR 参加者のうち世田谷区に在住する人の電力量を**6月のデータの妥当性について**の項で示した世帯タイプごとに集計し、本実証の集計対象者の世帯タイプに合わせて加重平均を取ったものを採用した。

表7 実証参加者全体と一般世帯の比較

グループ	集計対象数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
本実証	327	316.8	356.8	396.5	376.7	59.9	+18.89%
一般世帯 ※	約 15,000	313.2	367	405.8	386.4	73.2	+23.37%
本実証実績の 一般世帯比		+1.15%	-2.78%	-2.29%	-2.52%	-18.24%	-4.48pt

※東京ガス DR 参加者のうち世田谷区在住者の実績を世帯タイプごとに集計し、本実証参加者の世帯構成に合わせて加重平均を取った。

一般世帯との比較結果

まず本実証参加者全体の成果であるが、一般世帯の実績と比較して、実証期間中の7月8月の消費電力量は、絶対量で -2.52% の減少が認められた。また6月からの上昇量の比較では -4.48pt となった。

実証グループ別で見ると、G2およびG4については、全体的に一般世帯に比べて良い実績となっている。

G3は実証期間中の7月8月中の消費電力量に関しては一般世帯よりもやや多い結果となっているが、6月の消費電力がやや多いことからもともと消費電力の多い傾向の参加者が多かったことが考えられる。変動比で見ると一般世帯よりも低く抑えられている。

G1は消費電力の絶対量、Nature Remo E2 lite の配布のみで行動変容は伴っていないので、節電の動機が薄かったということが考えられる。Nature Remo E2 lite はあくまでも消費電力（買電量）を可視化するものであって、直接節電に貢献する機能は持たないため、参加者の意思でどう使うかということが肝要であると解釈される。

また今夏、特に8月は例年に比べ非常に高温であったため、アンケート回答でも見受けられる通り節電の実施を働きかけられない限りは、エアコンの稼働を抑えるという動機に乏しかったことが考えられる。家電の中でも特にエアコンの消費電力は大きいため、この影響は無視できない。

通知の効果について

アプリから送信している節電通知に関して、アンケートにて「週1回、アプリやメールでお送りした通知を見ましたか？」とお尋ねしたが、その回答結果と実際の成果の集計を行った結果が下表となる。

消費電力の多い人ほど通知を見るという興味深い傾向が見られたほか、6月からの変動比で見ると、通知を受けた人のほうが消費電力の上昇を抑えられているという結果となっている。

なお、通知の内容に関してのアンケート結果と消費電力のクロス分析結果（次の章で提示）を見る限り、コンテンツが節電に役立ったとは言いがたい。通知そのもので気づきを与え、節電方法自体は参加者各々が自ら考えて実践したケースが多いのであろうと思われる。

表8 通知を見た頻度ごとの消費電力量と変動比

通知を見たか	参加者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
毎回見た	44	341.4	387.7	433.6	410.7	69.3	20.28%
大体見た	66	336.7	394.0	428.0	411.0	74.3	22.07%
ほとんど見ていない	15	321.9	371.7	408.0	389.9	68.0	21.11%
まったく見ていない	8	256.7	303.3	344.3	323.8	67.1	26.14%
通知を見ていない	30	281.8	327.6	373.0	350.3	68.5	24.31%

参加者数はアンケート回答者のうち消費電力集計可能者を対象としている

Nature Remo Lapis の節電貢献

今回節電のためのツールとして提供している Nature Remo Lapis には、自動でエアコンの温度を調整することで消費電力を抑える「オートエコ」機能が搭載されている。

本実証参加者の皆様にもこの機能を活用いただいたいたが、実際の効果を確認するため、Nature Remo Lapis のみで節電を行う取り組みをしている実証グループ3の参加者で比較した結果が下表である。

オートエコ機能が完走した（発動した際に温度を手動で戻すなどして中断しなかった）時間数の1日あたり平均で参加者をグループ分けし、それぞれの消費電力量および変動比を算出すると下表の通りとなる。

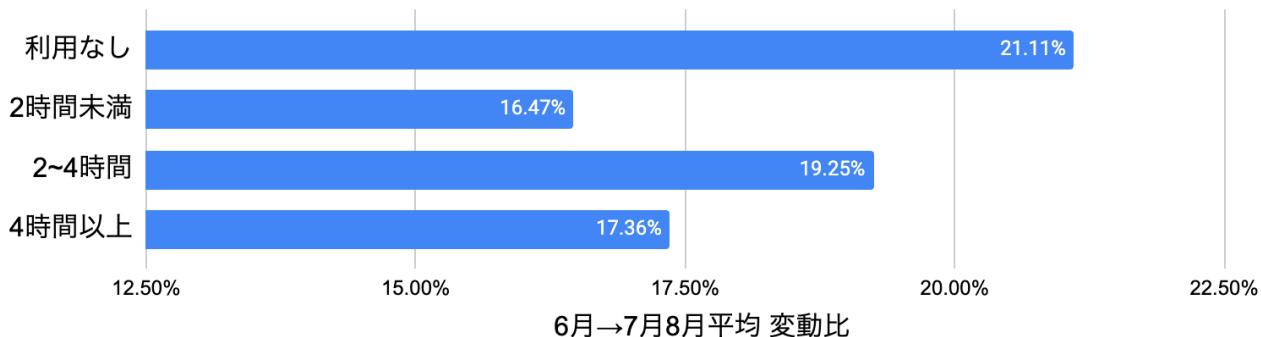
オートエコ機能の完走時間と消費電力の増加量は負の相関が見られ、節電のための機能として有効に機能していることが窺える。

表9 オートエコ機能完走時間ごとの消費電力量と変動比

オートエコ 完走時間/日	参加者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
利用なし	26	346.8	390.7	449.3	420.0	73.2	21.11%
2時間未満	21	345.5	389.5	415.4	402.4	56.9	16.47%
2~4時間	29	305.6	353.6	375.2	364.4	58.8	19.25%
4時間以上	24	319.2	355.7	393.5	374.6	55.4	17.36%

図2 オートエコ機能の1日平均完走時間×消費電力の6月比上昇割合

オートエコ機能の1日平均完走時間×消費電力の6月比上昇割合



Nature Remo E2 lite の見える化機能の貢献

今回、電力量の見える化ツールとして Nature Remo E2 lite を提供している。対象者の方へのアンケートで「活用した機能や便利だった機能を教えてください。（複数回答可）」とお尋ねしたが、その回答結果と実際の成果の集計を行った結果が下表となる。集計対象は G1、G2、G4 のアンケート回答者で、かつ6月～8月のデータが揃っている99名。

興味深い傾向が見えており、リアルタイムの電力使用量が見られることに興味を示している方は節電できていないケースが多いのに対し、前週前月比較やグラフ表示、日・週・月・年ごとの表示などの機能を活用した人はしっかりと節電に繋がっている。

リアルタイムの数値確認機能は Nature Remo E2 lite の目玉機能でもあり、スマートフォンアプリの「エネルギー」タブを開いた際にまず目に入るよう作られている。従って利用のハードルが低く、また普段知る機会の少ない各家電の実際の消費電力を知ることができるということもあり、節電の意向とは関係なく単に興味本位で使う参加者も多かったのではないかと思われる。実際にアンケートの自由記述では、思わぬ家電の消費電力に驚いたという記述もみられる。

見える化機能は単に使うだけではなく、機能を深く使い込んで過去との比較や曜日ごとの傾向などを知り、計画的に節電を行うことが重要であることがわかる。

表10 見える化機器の活用した機能・便利だった機能ごとの消費電力量と変動比

活用した機能や便利だった機能	選択した人の 6月からの変動	非選択の人の 6月からの変動	差分
リアルタイムの電力使用量が見られること	24.38%	23.69%	-0.69pt
前週・前月との比較ができること	19.88%	26.42%	+6.55pt
家電ごとの消費電力と電気代の見える化機能	23.49%	24.30%	+0.81pt
数値だけでなくグラフで表示されること	23.37%	24.85%	+1.49pt
日・週・月・年ごとの電力使用量・電気代が見られること	22.03%	26.39%	+4.37pt
条件設定によるオートメーション機能	26.00%	23.95%	-2.06pt
特になし	22.87%	24.31%	+1.44pt

アンケートとのクロス集計

アンケートの回答数

アンケートの回答において、同一人物による複数回答が確認された。この場合は期間中における最後の回答を有効回答として採用。結果、277の有効回答が得られた。

また、アンケート記載のメールアドレスで **Nature** 側の DB と突合を試みたが6割程度しかマッチできなかったため、氏名による照合を行っている。同一の名字で男女の異なる名前、すなわち夫の名義で参加登録をする一方でアンケート回答は妻名義で行っていると思われるケースが確認されたが、幸いこのケースと思われる参加者はすべて照合が可能であった。

可能な限りの照合を行ったが、参加者との紐づけができなかった回答が3件残った。参加者の確認が取れた最終的な有効回答はこの3名を除き274となった。またこの有効回答274件のうち、6月、7月、8月の消費電力集計対象となっている参加者数はそれぞれ168、220、246名で、6月～8月のデータが揃っているのは166名であった。各選択肢について、選択した参加者と選択しなかった参加者のうち、6月～8月のデータが揃っている166名について、クロス集計を行った。

節電態度×実績

Q: 今回の実証実験のモニターに応募した理由について教えてください。（複数回答可）

ほとんどの選択肢で、選択した参加者の方が消費電力の増加幅が多めという結果になっている。

A: 「Nature Remo E2 lite（電力量の見える化機器）」に興味を持ったから。

表11 応募理由（見える化機器への興味）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	105	320.6	375.6	412.6	394.1	73.5	22.93%
非選択	61	321.4	362.8	407.0	384.9	63.5	19.76%

A: 「Nature Remo Lapis（エアコンの自動制御機器）」に興味を持ったから。

表12 応募理由（自動制御機器への興味）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	70	341.0	386.1	420.8	403.5	62.5	18.32%
非選択	96	306.2	359.8	403	381.4	75.2	24.55%

A: 電気代を安くしたいから。

表13 応募理由（電気代を安くしたい）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	74	328.2	380.7	420.2	400.5	72.3	22.01%
非選択	92	315	363	402.8	382.9	67.9	21.55%

A: 環境に配慮した行動をしたいから。

表14 応募理由（環境配慮）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	49	299	350.8	393.2	372	73	24.40%
非選択	117	330	379.3	417.8	398.6	68.5	20.76%

A: 無料だったから。

表15 応募理由（無料だったから）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	71	315.1	362.5	406.2	384.4	69.2	21.96%
非選択	95	325.2	377.2	413.8	395.5	70.3	21.61%

Q: 日ごろから気候変動や環境問題への関心がありますか？

ポジティブな回答ほど消費電力の絶対値および6月差分ともに増える結果となっている。

表16 気候変動や環境問題への関心ごとの消費電力量と変動比

選択肢	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
ない	1	153	142.7	186	-10.3	33	21.57%
あまりない	10	289.1	331.3	341	42.3	51.9	17.95%
まあまあある	85	312.2	357.1	382.1	44.9	70	22.42%
ある	70	338.4	396.6	426.8	58.1	88.3	26.09%

Q: 今回の実証実験において、無理せず、日常的に省エネに取り組むために、効果的だと感じたことはどんなことですか。（複数選択可）

電力量の見える化を選択した人が多いが、選択した人のほうが消費電力量が増える結果となっている。

エアコンの自動制御が次点で多かった。Nature Remo Lapis のオートエコ機能に関しては FA での回答でも評価が良かったため、自動で温度調節して勝手に節電してくれるというのは非常に有効な機能なのだとと思われる。

通知に関してはもともと消費電力の多い人が選択する傾向が強く出ており、7月8月の電力量の絶対値も多くなっているが、消費電力の増加比率で見ると抑制には貢献できていそうである。

A: 電力量の見える化

表17 効果的と感じた取組み（電力量の見える化）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	85	329.8	388.2	428.8	408.5	78.7	23.86%
非選択	81	311.5	352.8	391.4	372.1	60.5	19.43%

A: エアコンの自動制御

表18 効果的と感じた取組み（エアコンの自動制御）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	65	323.9	374.4	407.6	391	67.1	20.71%
非選択	101	319	368.6	412.5	390.6	71.6	22.45%

A: 通知が届くこと

表19 効果的と感じた取組み（通知）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	44	366.8	423.3	452.2	437.8	70.9	19.34%
非選択	122	304.3	352	395.5	373.7	69.4	22.81%

A: 効果的な取り組みはなかった

表20 効果的と感じた取組み（効果的な取組みはなかった）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	33	322.5	370.5	418.8	394.7	72.2	22.40%
非選択	133	320.5	371	408.5	389.7	69.2	21.60%

Q: どのような企画や発信があると、省エネ（再エネ・創エネ）に取り組むきっかけや後押しになると感じますか？（複数選択可）

A: 行動の成果（節電量、CO₂削減量など）の見える化

表21 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（行動の成果の見える化）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	99	319	375.5	415.4	395.5	76.4	23.96%
非選択	67	323.6	364	403.4	383.7	60.1	18.56%

A: 補助制度のわかりやすい紹介

表22 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（補助制度紹介）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	60	339.5	396.4	442.1	419.3	79.8	23.50%
非選択	106	310.4	356.5	392.7	374.6	64.2	20.68%

A: 具体的な節電方法の紹介

表23 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（節電方法紹介）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	78	342	402.5	439.1	420.8	78.8	23.02%
非選択	88	302.1	342.9	385.3	364.1	61.9	20.49%

A: 実際に取り組んでいる人のインタビュー記事

表24 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（インタビュー記事）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	9	390	432.1	422.5	427.3	37.3	9.56%
非選択	157	316.9	367.4	409.9	388.6	71.7	21%

A: 節電することでポイントがもらえる

表25 省エネのきっかけ・後押しになると感じる取組み（節電ポイント）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	105	296.3	342.1	376	359	62.8	21.18%
非選択	61	363.3	420.5	470	445.3	82	22.58%

通知×実績

Q: 【通知について】省エネ行動をおこなうきっかけとなった通知があれば、教えてください。
(複数選択可)

実証結果の章で述べた通り、通知自体は節電に効果があったが、通知のコンテンツはあまり節電の成果に繋がっていない可能性が高い。

通知で参加者の背中を押す効果はあったが、節電の方法は教えられたことを実行するのではなく、参加者が各自のライフスタイルに合わせて考えて実行したほうが効果的だったのではないかと考えられる。

A: 機器の機能紹介

表26 省エネ行動につながる通知（機器の機能紹介）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	31	314.6	366.3	408.3	387.3	72.7	23.10%
非選択	94	343.8	396.7	433.9	415.3	71.4	20.78%

A: 節電行動の紹介

表27 省エネ行動につながる通知（節電行動紹介）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	42	309.2	360.3	403.1	381.7	72.5	23.43%
非選択	83	350.4	403.7	439.9	421.8	71.4	20.37%

A: モニター参加者の電力使用量

表28 省エネ行動につながる通知（モニター参加者の電力使用量）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	26	340.8	378.6	408.9	393.7	52.9	15.53%
非選択	99	335.5	391.9	432.5	412.2	76.7	22.86%

A: 特にない

表29 省エネ行動につながる通知（特にない）ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
選択	49	376.1	439.2	480.5	459.9	83.7	22.26%
非選択	76	311.1	356.9	393.4	375.1	64	20.58%

見える化サービス利用×実績

Q: 契約中の電力会社に「電力量の見える化」のサービスはありますか。／日ごろ、そのサービスを使って電力を見てていますか。

見える化サービスを使っていると消費電力が少なくなる傾向が見てとれる。

表30 見るかサービスの利用有無ごとの消費電力量と変動比

見える化サービス	サービスの使用	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
ある	見ている	80	303.9	350.9	395.9	373.4	69.5	22.88%
	見ていない	16	334.2	346.1	389.8	367.9	33.7	10.08%
ない・わからない		70	337.3	411.9	493.3	452.6	115.3	34.20%

Q: 【Remo E2 liteについて】週に何回程度、電力使用量を確認しましたか。

表31 電力使用量の確認頻度ごとの消費電力量と変動比

選択肢	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
確認していない	5	220.5	267.1	305.1	286.1	65.6	29.72%
週1～2回	34	307.3	356.7	401	378.8	71.6	23.29%
週3～4回	16	341.9	407	449	428	86.1	25.19%
週5回以上	14	335.7	401.7	454.1	427.9	92.2	27.47%

自己認識×実績

A: 実証期間中、無理せず、日常的に省エネ(※)に取り組むことができましたか？

参加者の自己認識と実際の節電実績は概ね正の相関。まさに見える化の効果そのものである。

表32 参加者の自己認識ごとの消費電力量と変動比

選択有無	該当者数	6月 [kWh]	7月 [kWh]	8月 [kWh]	7月8月平均 [kWh]	6月→7月8月平均 差分 [kWh]	6月→7月8月平均 変動比
できた	44	260	302.7	331.6	317.1	57.2	21.99%
まあできた	88	346.4	398.3	442.8	420.5	74.2	21.41%
あまりできなかった	27	330.3	386.3	436.1	411.2	80.9	24.48%
できなかった	4	435.3	523.3	515	519.1	83.8	19.25%

※3件回答が得られていないため、サンプル数の総計が163となっている。

本報告書の表に掲載している数値は、端数処理せずに各値を算出したのち、最後に四捨五入しているため、数値が一致しない場合があります。

アンケート単体の集計結果（案）

Q: 今回の実証実験のモニターに応募した理由について教えてください。（複数回答可）

回答者数: 274

図 1

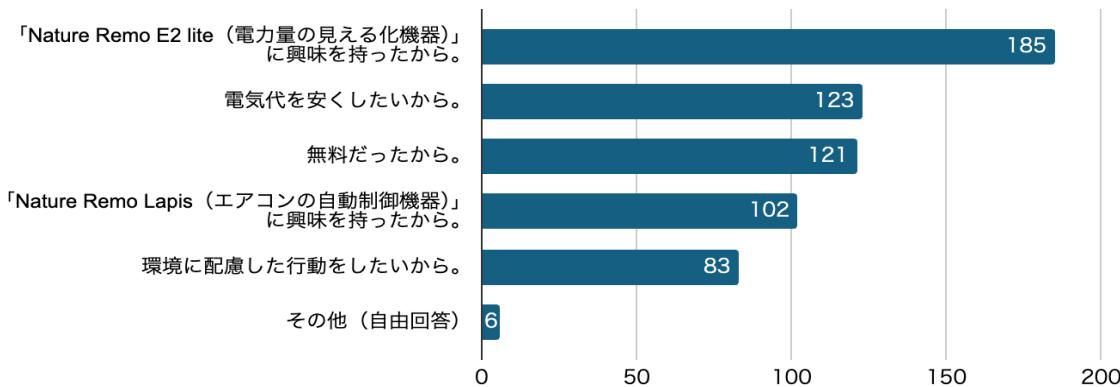


表 1-1

選択肢	回答者数	割合
「Nature Remo E2 lite（電力量の見える化機器）」に興味を持ったから。	185	67.52%
電気代を安くしたいから。	123	44.89%
無料だったから。	121	44.16%
「Nature Remo Lapis（エアコンの自動制御機器）」に興味を持ったから。	102	37.23%
環境に配慮した行動をしたいから。	83	30.29%
その他（自由回答）	6	2.19%

表 1-2

自由回答（一部）
アンケート集計結果電気の使い方の傾向や、どの機器を使うと電気代がどのくらい上がるのかが知りたかったから
一人暮らしなので不在時にも自動制御、節電ができたらと思っていたので
どのような手法か気になったので
利用中の他社のスマートデバイスとの違いの検証

Q: 日ごろから気候変動や環境問題へ関心がありますか？

回答者数: 274

図 2

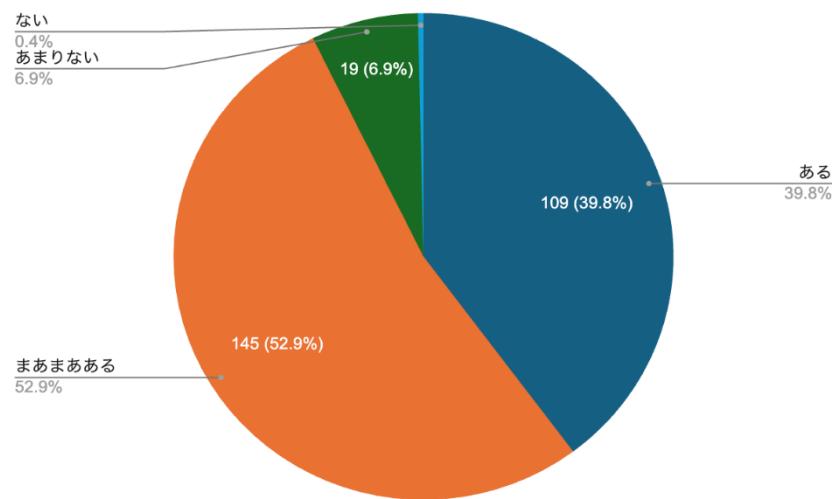


表 2

選択肢	回答者数	割合
ある	109	39.78%
まあまあある	145	52.92%
あまりない	19	6.93%
ない	1	0.36%

Q: 契約している電力会社を教えてください。

回答者数: 274

図 3

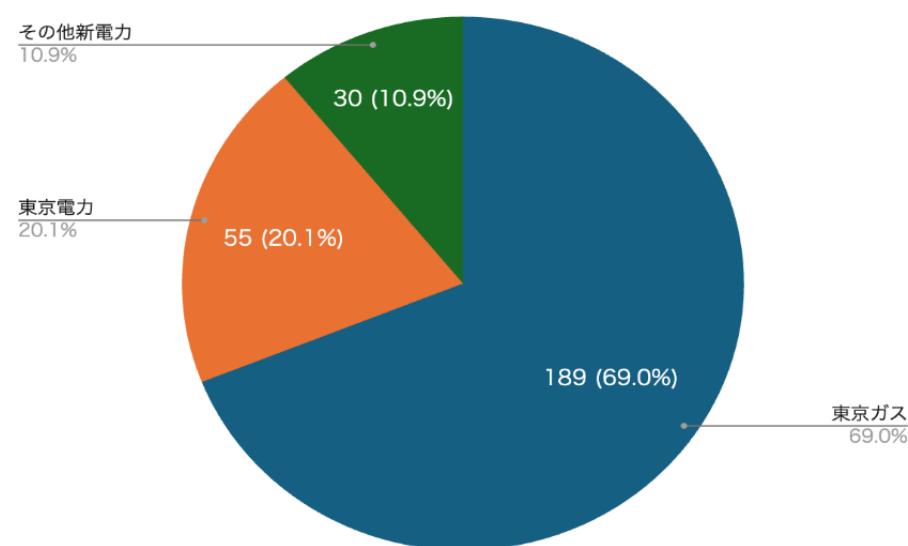


表 3-1

選択肢	回答者数	割合
東京ガス	189	68.98%
東京電力	55	20.07%
その他新電力	30	10.95%

表 3-2

その他新電力内訳	回答者数
au でんき	4
東急パワーサプライ	3
東京電力エナジーパートナー	2
ソフトバンクでんき	2
東急パワーサプライ	2
オクトパスエナジー	2
ENEOS でんき	2
世田谷でんき	1
九電みらいエナジー	1
トクテンでんき	1
ハチドリ電力	1
ドコモ電気	1
J:COM 電力	1
シン・エナジーでんき	1
イツツコムエナジー	1
みんな電気	1
しろくまパワー	1
Looop でんき	1
V ポイントでんき	1
生活クラブエナジー	1

Q: 契約している電力プランを教えてください。

総回答者数: 274

図 4

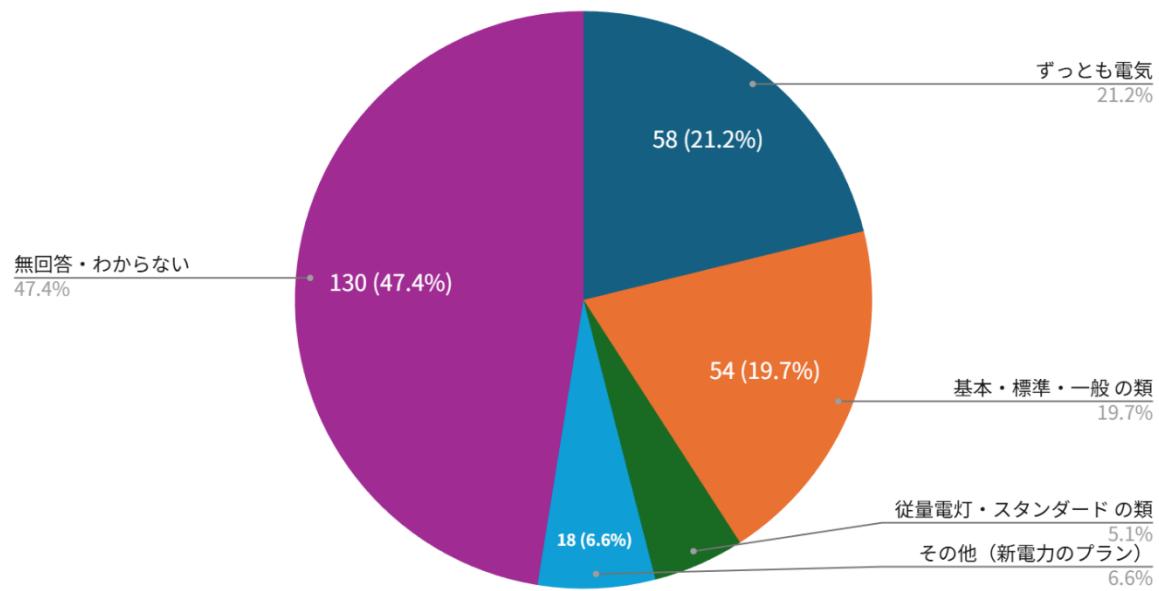


表 4

選択肢	回答者数	割合
ずっとも電気	58	21.17%
基本・標準・一般の類	54	19.71%
従量電灯・スタンダードの類	14	5.11%
その他(新電力のプラン)	18	6.57%
無回答・わからない	130	47.45%

Q: 契約中の電力会社に「電力量の見える化」のサービスはありますか。

回答者数: 274

図 5

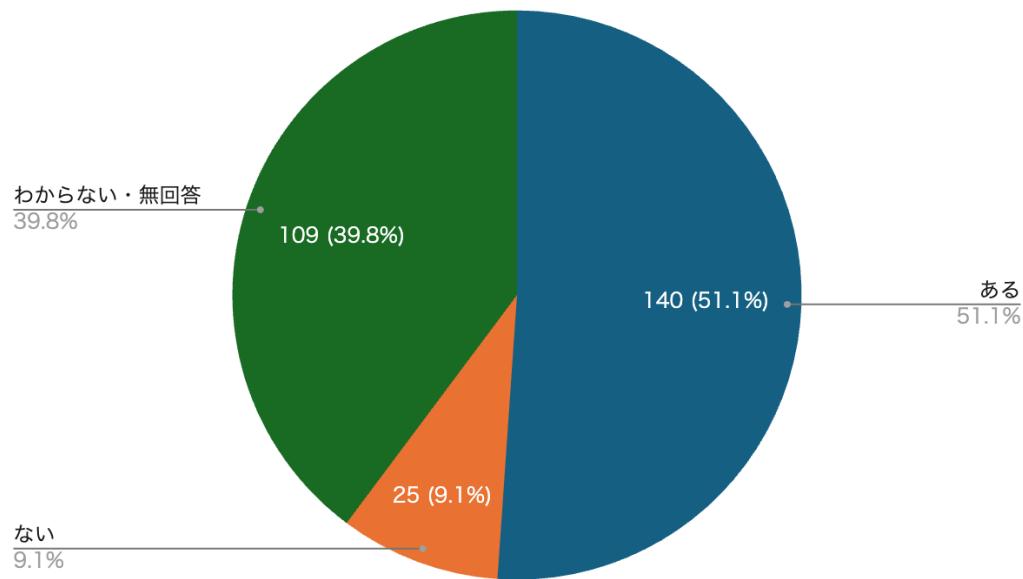


表 5

選択肢	回答者数	割合
ある	140	51.09%
ない	25	9.12%
わからない・無回答	109	39.78%

Q: 上記設問で【ある】と答えたのみお答えください 日ごろ、そのサービスを使って電力を見ていますか。

回答者数: 140 ※前問で「ある」と回答

図 6

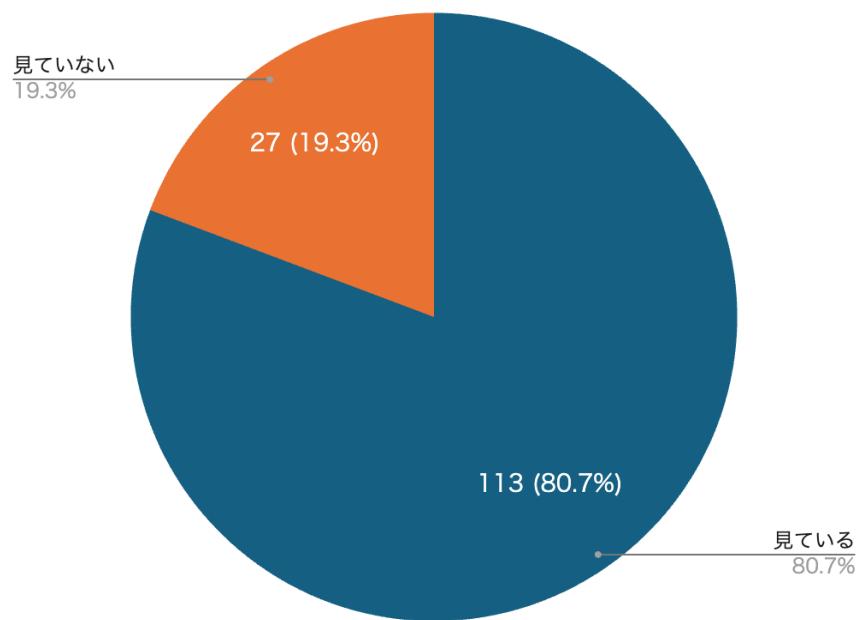


表 6-1

選択肢	回答者数	割合
見てている	113	80.71%
見ていない	27	19.29%

Q: 上記設問で【見ていない】と答えた人のみお答えください その理由を教えて下さい。

自由回答、回答があったものの記載。

表 6-2

回答内容（一部）
反映されるのが翌日で遅いから
ログイン手順が多くアクセスするのが面倒なため。
見たところで使用量が変わるわけではないので。
毎月の報告があり、そちらで十分と考えています。
あることを知らなかった

Q: 実証実験の参加状況についてお答えください。

回答者数: 274

図 7

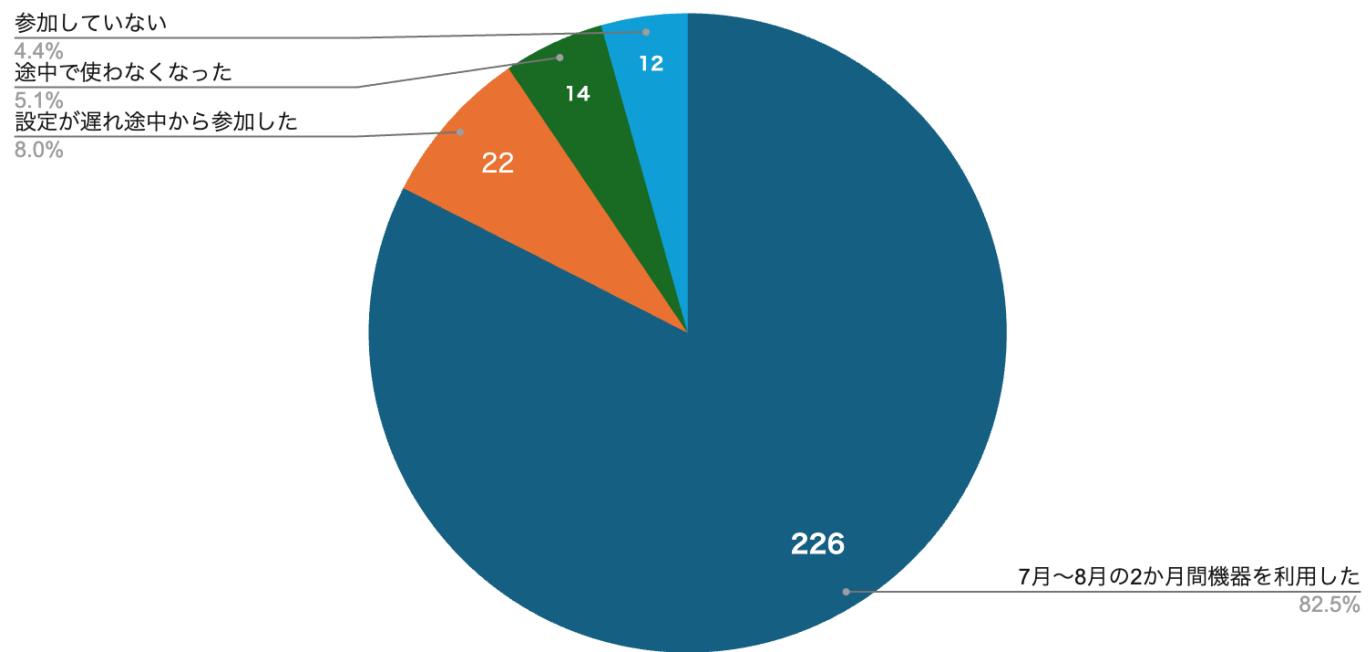


表 7

選択肢	回答者数	割合
7月～8月の2か月間機器を利用した	226	82.48%
設定が遅れ途中から参加した	22	8.03%
途中で使わなくなった	14	5.11%
参加していない（機器設定していない、辞退・機器返却）	12	4.38%

Q: 実証期間中、無理せず、日常的に省エネ(※)に取り組むことができましたか？

回答者数: 262 ※実証に参加した人

図 8

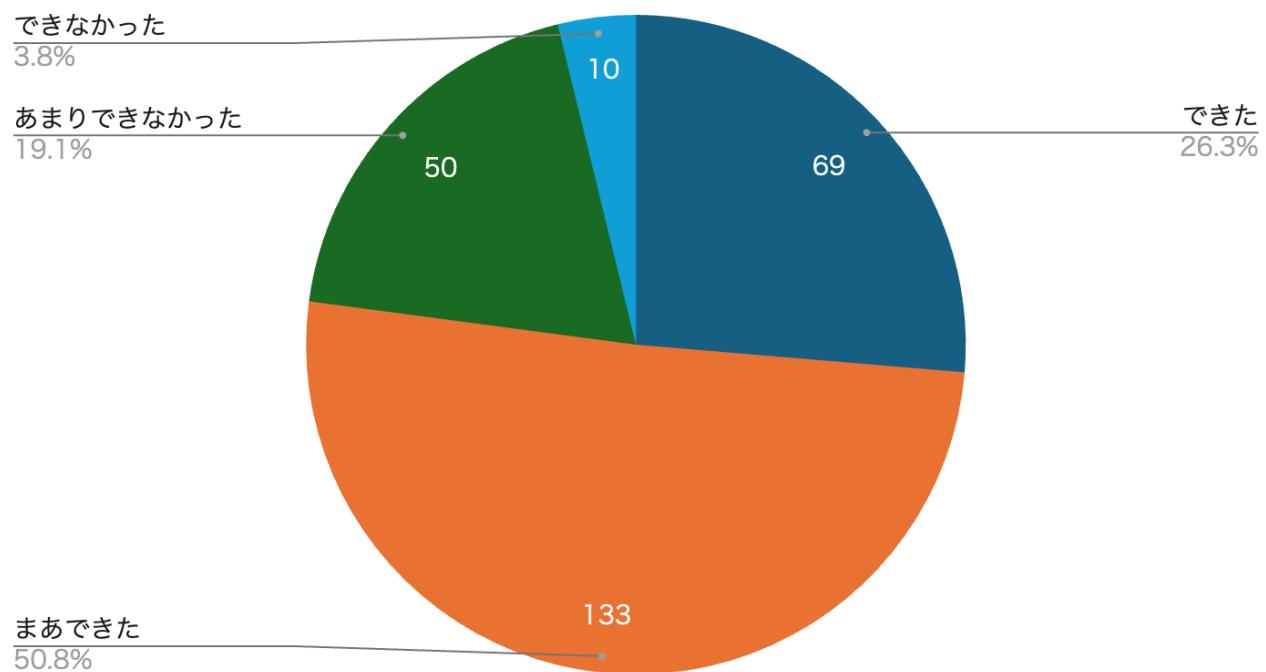


表 8

選択肢	回答者数	割合
できた	69	26.34%
まあできた	133	50.76%
あまりできなかった	50	19.08%
できなかった	10	3.82%

Q: 今回の実証実験において、無理せず、日常的に省エネに取り組むために、効果的だと感じたことはどんなんことですか。 (複数選択可)

回答者数: 262 ※実証に参加した人

図 9

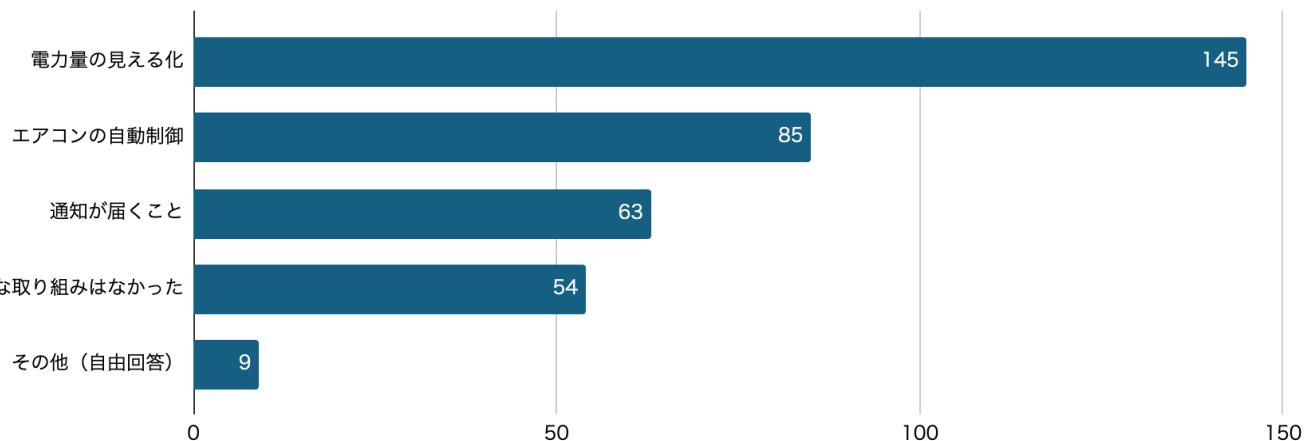


表 9-1

選択肢	回答者数	割合
電力量の見える化	145	55.34%
エアコンの自動制御	85	32.44%
通知が届くこと	63	24.05%
効果的な取り組みはなかった	54	20.61%
その他（自由回答）	9	3.44%

表 9-2

自由回答（一部）
電力会社の使用電力量の見える化は過去分のデータは見えるが、当日分（リアルタイム）が分らないので省エネ活動に取り組み難い。今回のモニターはリアルタイムで確認できたので省エネに取り組みやすかった。
スマホで家電の操作が出来たこと
エアコンの遠隔操作
取り組みに参加していることの意識付け

Q: 実証実験への参加をきっかけにおこなった省エネ行動がありましたら、選択してください。（複数選択可）

回答者数: 262 ※実証に参加した人

図 10

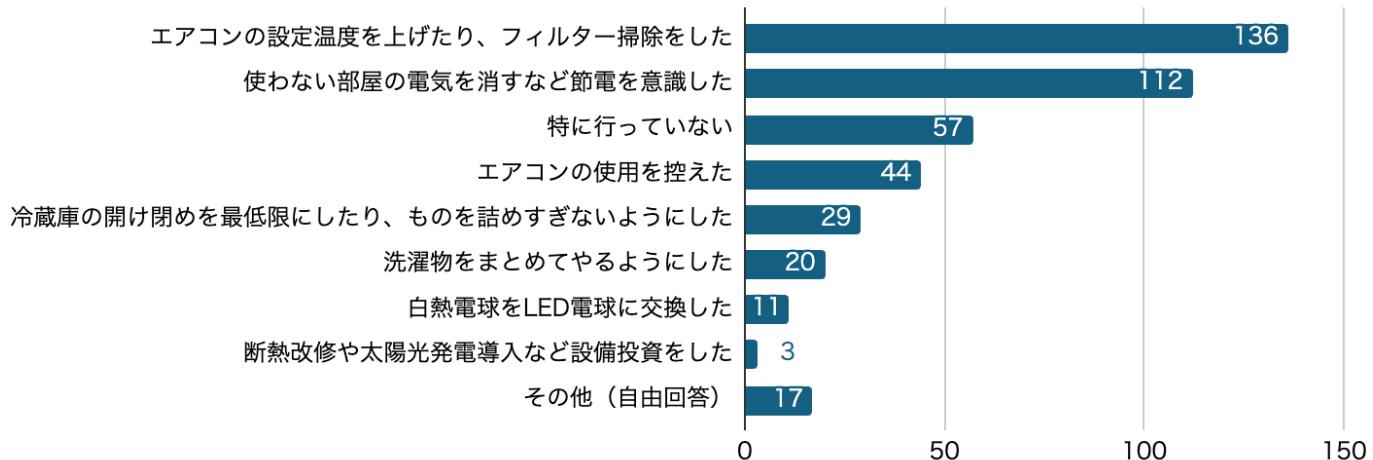


表 10-1

選択肢	回答者数	割合
エアコンの設定温度を上げたり、フィルター掃除をした	136	65.38%
使わない部屋の電気を消すなど節電を意識した	112	53.85%
特に行っていない	57	27.40%
エアコンの使用を控えた	44	21.15%
冷蔵庫の開け閉めを最低限にしたり、ものを詰めすぎないようにした	29	13.94%
洗濯物をまとめてやるようにした	20	9.62%
白熱電球を LED 電球に交換した	11	5.29%
断熱改修や太陽光発電導入など設備投資をした	3	1.44%
その他（自由回答）	17	8.17%

表 10-2

自由回答（一部）
エアコンの消し忘れが減った
エアコンの買換
無駄に長い時間浴室乾燥機を使わないようにした。
室外機の上に暑さ対策シートをつけた。
使わないプラグを抜いた
環境にやさしい電力プランに切り替えた
元々行っている省エネ行動を、持続しました。

Q: 提供された機器を選択してください。

回答者数: 262 ※実証に参加した人

図 11

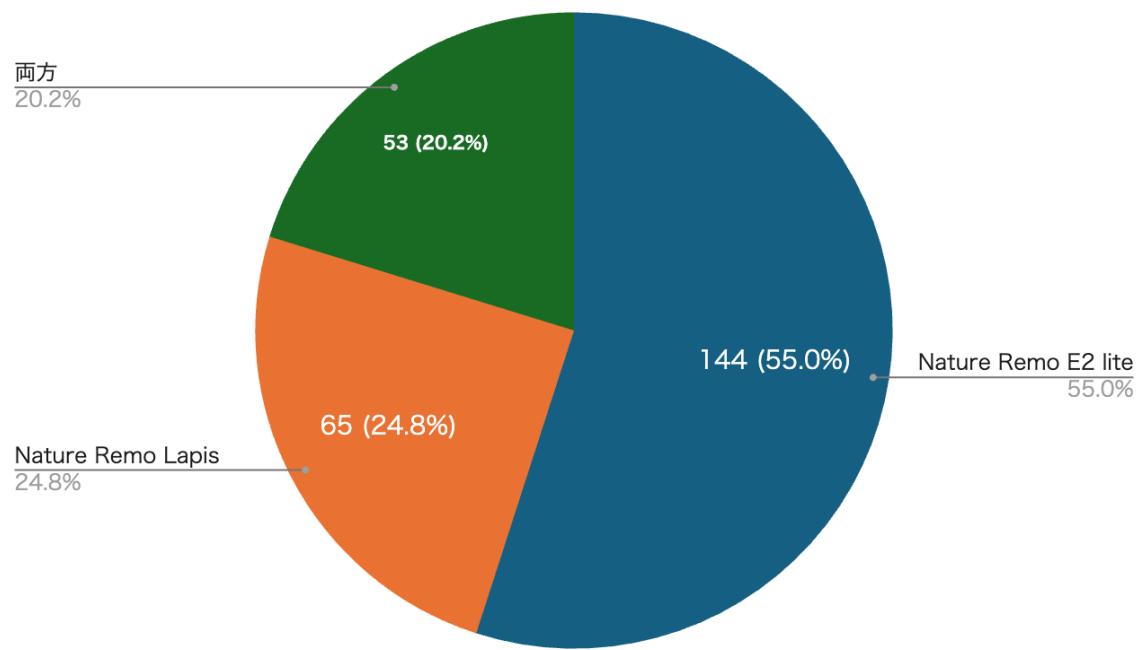


表 11

選択肢	回答者数	割合
Nature Remo E2 lite (電力量の見える化機器)	144	54.96%
Nature Remo Lapis (エアコンの自動制御機器)	65	24.81%
Nature Remo E2 lite と Nature Remo Lapis 両方	53	20.23%

Q: 【Remo E2 lite について】 週に何回程度、電力使用量を確認しましたか。

回答者数: 197 ※Nature Remo E2 lite を配布された人

図 12

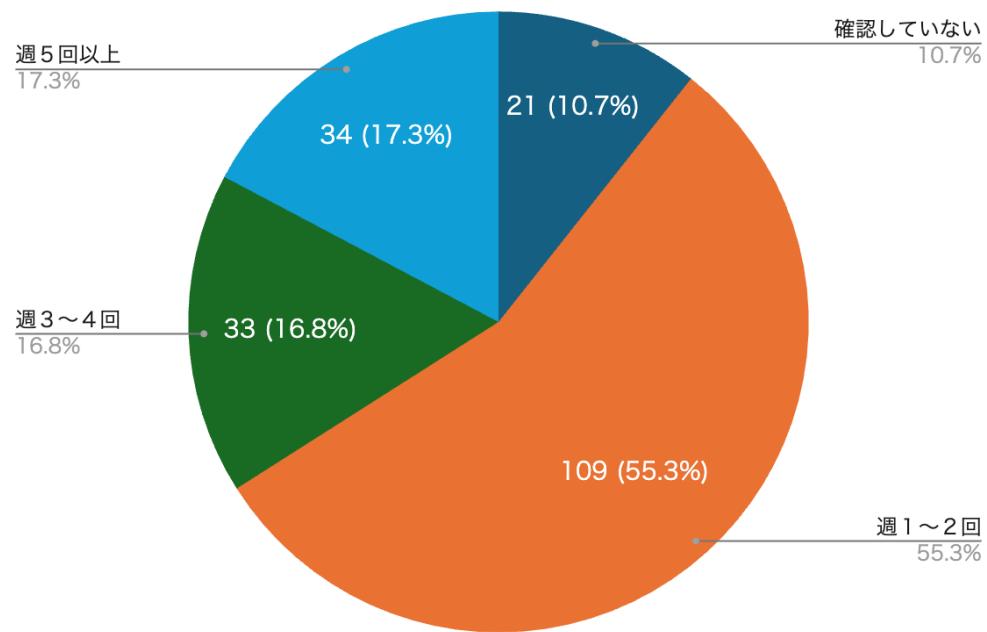


表 12

選択肢	回答者数	割合
確認していない	21	10.66%
週 1 ~ 2 回	109	55.33%
週 3 ~ 4 回	33	16.75%
週 5 回以上	34	17.26%

Q: 【Remo E2 lite について】 活用した機能や便利だった機能を教えてください。 (複数回答可)

回答者数: 197 ※Nature Remo E2 lite を配布された人

図 13

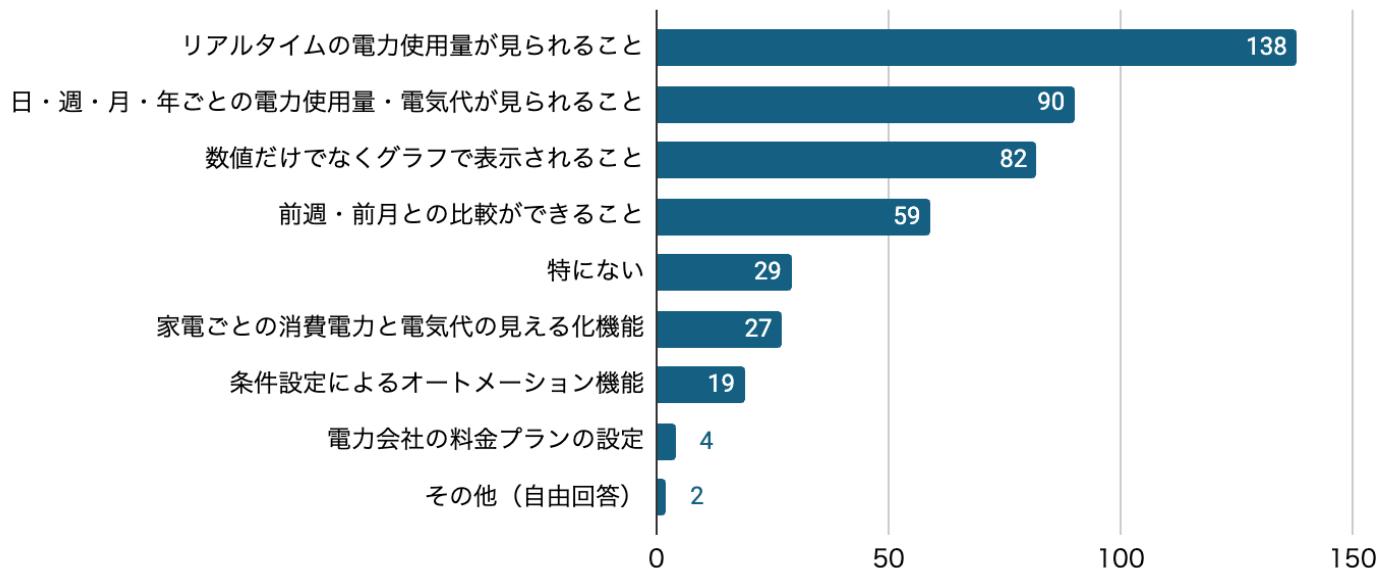


表 13-1

選択肢	回答者数	割合
リアルタイムの電力使用量が見られること	138	70.05%
日・週・月・年ごとの電力使用量・電気代が見られること	90	45.69%
数値だけでなくグラフで表示されること	82	41.62%
前週・前月との比較ができること	59	29.95%
特にない	29	14.72%
家電ごとの消費電力と電気代の見える化機能	27	13.71%
条件設定によるオートメーション機能	19	9.64%
電力会社の料金プランの設定	4	2.03%
その他（自由回答）	2	1.02%

表 13-2

自由回答（一部）
Remo E2 lite 設置場所の気温把握

Q: 【Remo E2 liteについて】 どんな追加機能（アプリの表示）があれば、さらに省エネに取り組むきっかけになりますか。（複数選択可）

回答者数: 197 ※Nature Remo E2 lite を配布された人

図 14

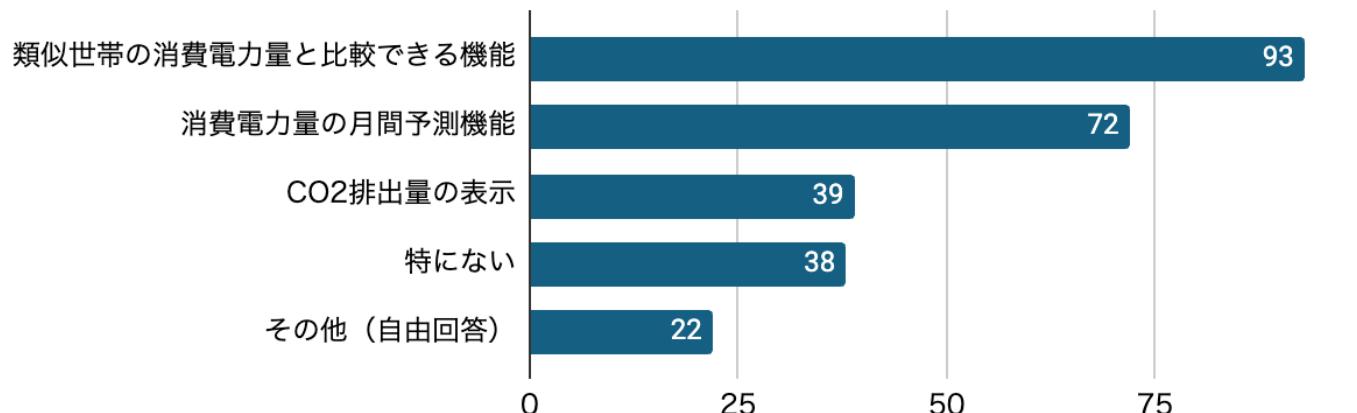


表 14-1

選択肢	回答者数	割合
類似世帯の消費電力量と比較できる機能	93	47.21%
消費電力量の月間予測機能	72	36.55%
CO2排出量の表示	39	19.80%
特になし	38	19.29%
その他 (自由回答)	22	11.17%

表 14-2

自由回答（一部）
日ごとの消費電力予測（PCで行っていました）
電化製品ごとに使用量や料金がわかる
電力消費の内訳の表示や、節電プランの suggestion
節約できた金額の具体化(何円節約できたので何を買えましたみたいな)
機器の入力の種類がもう少しあると良かった。エアコンも3台使った時に、エアコン2.エアコン3などと分けたかった。古いエアコンもあるため。

Q: 【Remo E2 liteについて】 不便を感じた点を教えてください。 (複数回答可)

回答者数: 197 ※Nature Remo E2 lite を配布された人

図 15

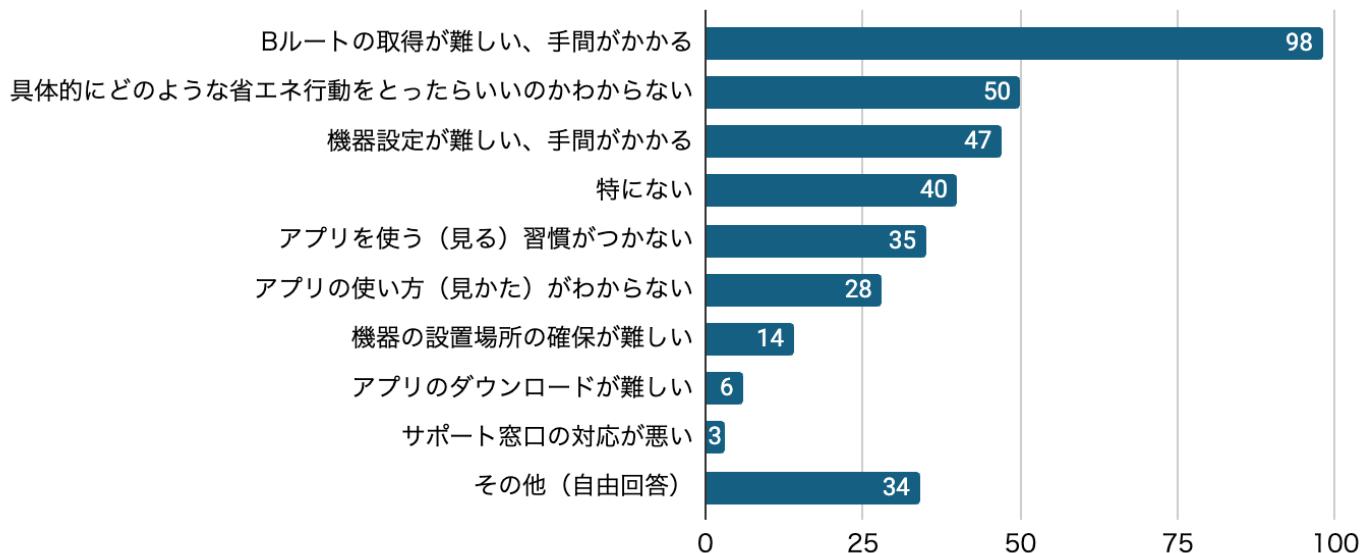


表 15-1

選択肢	回答者数	割合
B ルートの取得が難しい、手間がかかる	98	49.75%
具体的にどのような省エネ行動をとったらいいのかわからない	50	25.38%
機器設定が難しい、手間がかかる	47	23.86%
特ない	40	20.30%
アプリを使う（見る）習慣がつかない	35	17.77%
アプリの使い方（見かた）がわからない	28	14.21%
機器の設置場所の確保が難しい	14	7.11%
アプリのダウンロードが難しい	6	3.05%
サポート窓口の対応が悪い	3	1.52%
その他（自由回答）	34	17.26%

表 15-2

自由回答（一部）
製品ごとの使用量がわからないので、省エネ行動を決めかねる
グラフのスケールが日によって変わって見づらいです
詳細な電力消費量の内訳を算出するために、いちいち登録が必要
操作法方法の案内が少ない。リーフレットで説明をしっかりと分かり易くして欲しい。

Q: 【Remo E2 lite について】ご自分で「電力量の見える化機器」の購入を検討する場合、妥当だと思う価格を選択してください。

回答者数: 197 ※Nature Remo E2 lite を配布された人

図 16

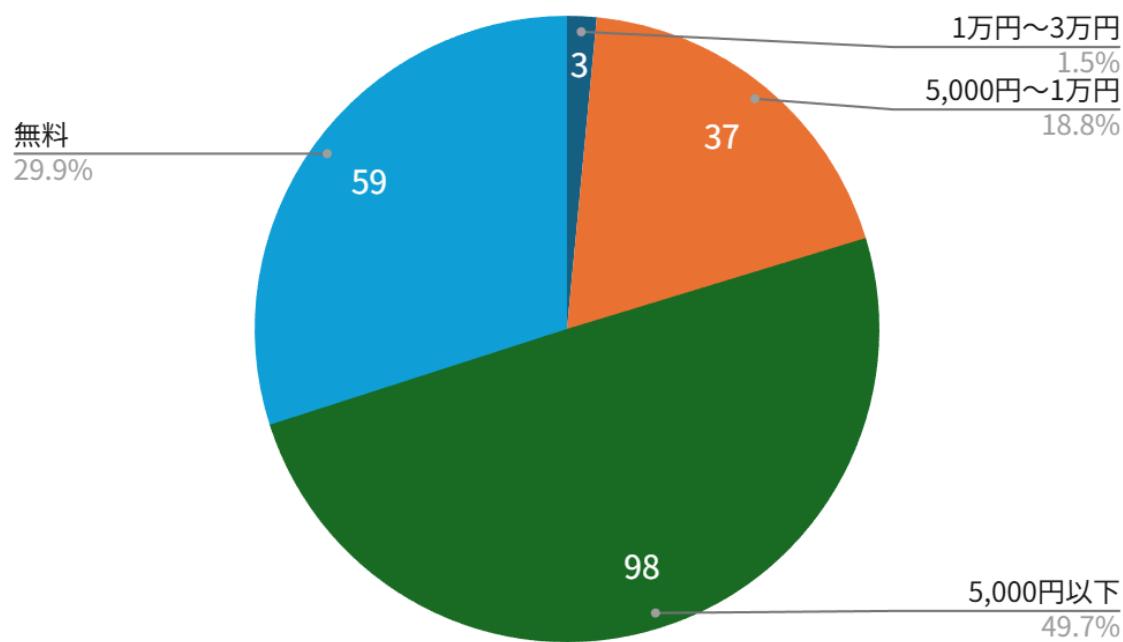


表 16

選択肢	回答者数	割合
1万円～3万円	3	1.52%
5,000円～1万円	37	18.78%
5,000円以下	98	49.75%
無料	59	29.95%

Q: 【Remo Lapisについて】活用した機能や便利だった機能を教えてください。（複数回答可）

回答者数: 118 ※Nature Remo Lapis を配布された人

図 17

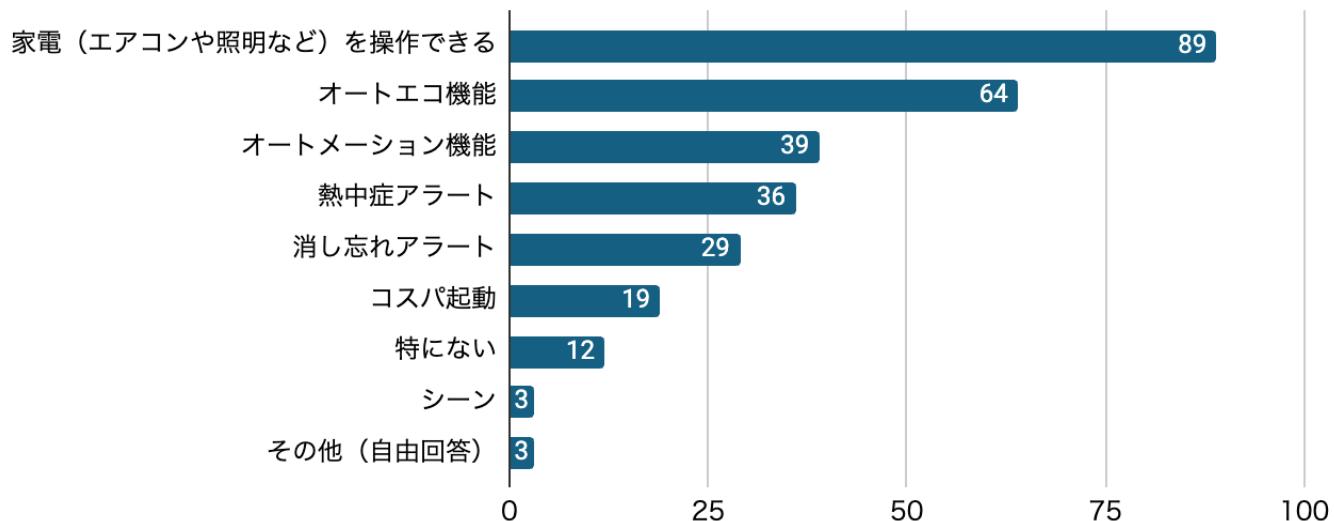


表 17

選択肢	回答者数	割合
家電（エアコンや照明など）を操作できる	89	75.42%
オートエコ機能	64	54.24%
オートメーション機能	39	33.05%
熱中症アラート	36	30.51%
消し忘れアラート	29	24.58%
コスパ起動	19	16.10%
特になし	12	10.17%
シーン	3	2.54%
その他（自由回答）	3	2.54%

Q: 【Remo Lapis について】 不便を感じた点を教えてください。 (複数回答可)

回答者数: 118 ※Nature Remo Lapis を配布された人

図 18

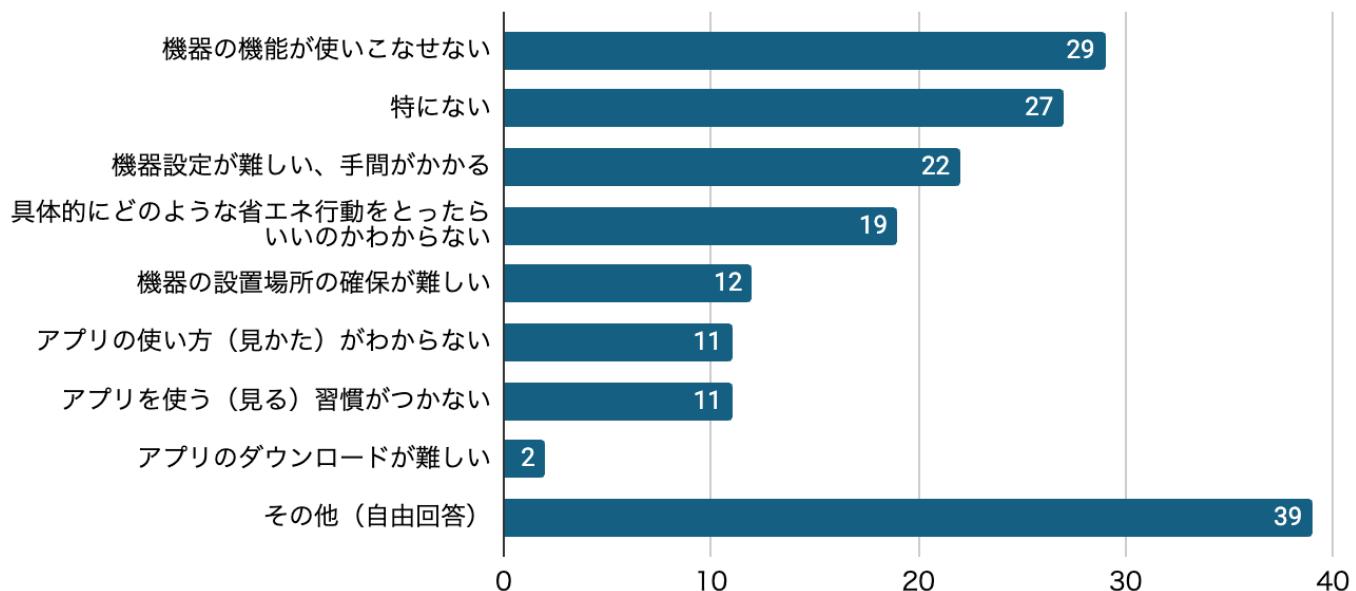


表 18-1

選択肢	回答者数	割合
機器の機能が使いこなせない	29	24.58%
特はない	27	22.88%
機器設定が難しい、手間がかかる	22	18.64%
具体的にどのような省エネ行動をとったらいいのかわからない	19	16.10%
機器の設置場所の確保が難しい	12	10.17%
アプリの使い方（見かた）がわからない	11	9.32%
アプリを使う（見る）習慣がつかない	11	9.32%
アプリのダウンロードが難しい	2	1.69%
その他（自由回答）	39	33.05%

表 18-2

自由回答（一部）
エアコン、テレビは設定できたのですが、照明が対象機器で無かったのかうまく設定できなかった
エアコン付属のリモコンと同一の操作ができなかったこと
設定していない別のエアコンのスイッチも入ってしまう
オート機能だと、部屋にいない時間でも勝手にエアコンがついてしまう
熱中症アラート設定温度を超えてまで節電モードに入ってしまうのが困った。節電モードとはいえ、29度以上はさすがに暑くて温度を手動で戻すのが何度も面倒だった。温度だけでなく湿度も勘案して節電モードになってほしい。
何との対比での節電額なのが分からぬ
使ってる時の、ピッという音がうるさい
サポート窓口の対応が悪い

Q: 【Remo Lapisについて】ご自身で「家電の自動制御機器」の購入を検討する場合、妥当だと思う価格を選択してください。

回答者数: 118 ※Nature Remo Lapisを配布された人

図 19

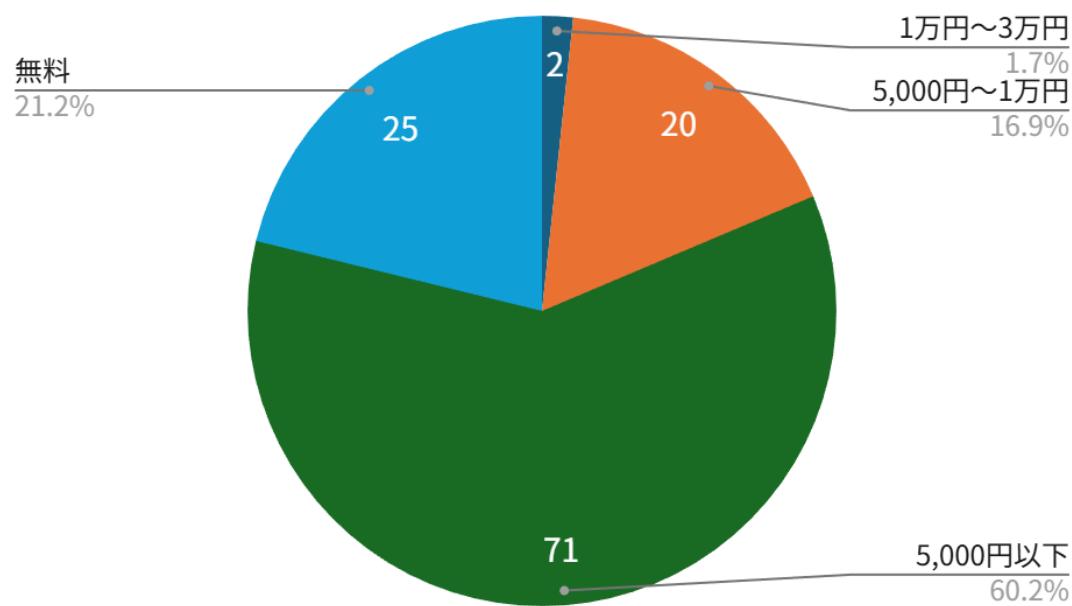


表 19

選択肢	回答者数	割合
1万円～3万円	2	1.69%
5,000円～1万円	20	16.95%
5,000円以下	71	60.17%
無料	25	21.19%

Q: 【通知について】 週1回、アプリやメールでお送りした通知を見ましたか？

回答者数: 262 ※実証に参加した人

図 20

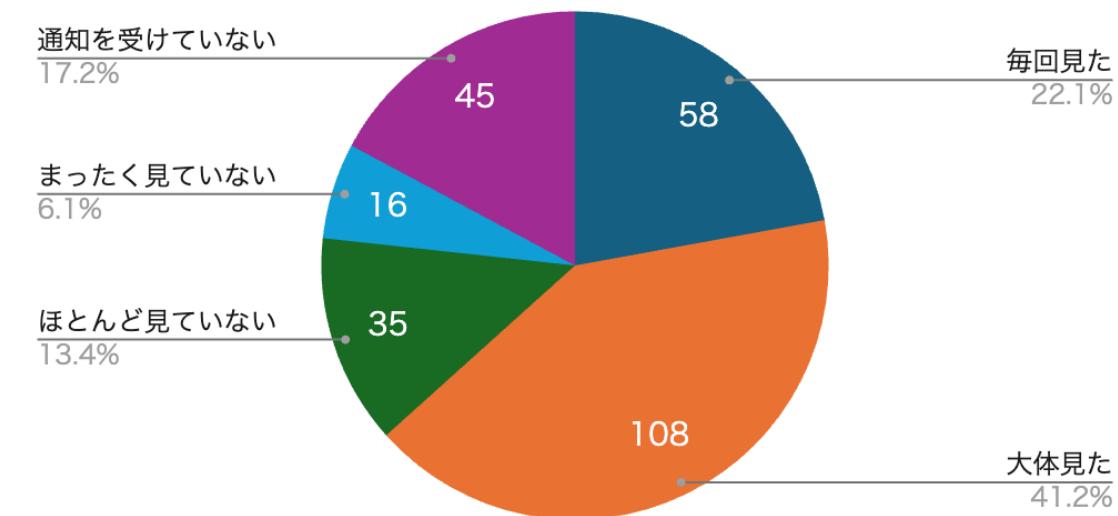


表 20

選択肢	回答者数	割合
毎回見た	58	22.14%
大体見た	108	41.22%
ほとんど見っていない	35	13.36%
まったく見ていない	16	6.11%
通知を受けていない	45	17.18%

Q: 【通知について】 省エネ行動をおこなうきっかけとなった通知があれば、教えてください。 (複数選択可)

回答者数: 201 ※前問で「まったく見ていない」「通知を受けていない」以外

図 21

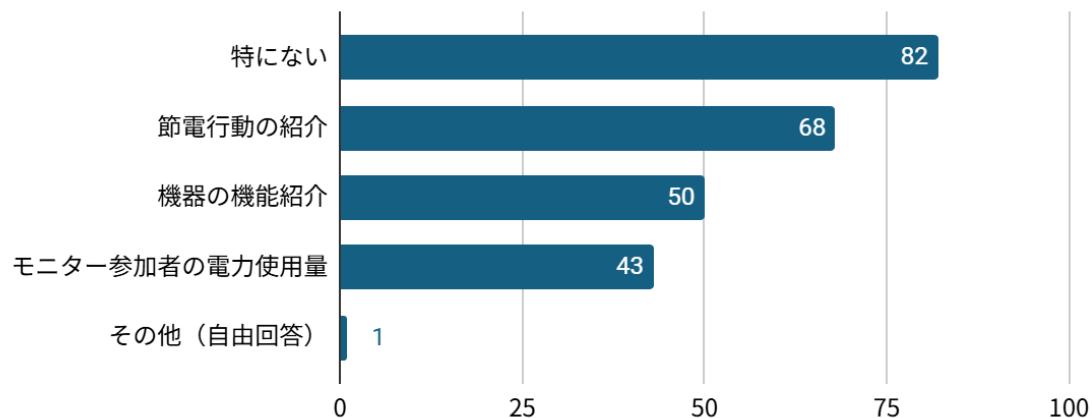


表 21

選択肢	回答者数	割合
特にない	82	40.80%
節電行動の紹介	68	33.83%
機器の機能紹介	50	24.88%
モニター参加者の電力使用量	43	21.39%
その他 (自由回答)	1	0.50%

Q: どのような企画や発信があると、省エネ（再エネ・創エネ）に取り組むきっかけや後押しになると感じますか？（複数選択可）

回答者数: 262 ※実証に参加した人

図 22

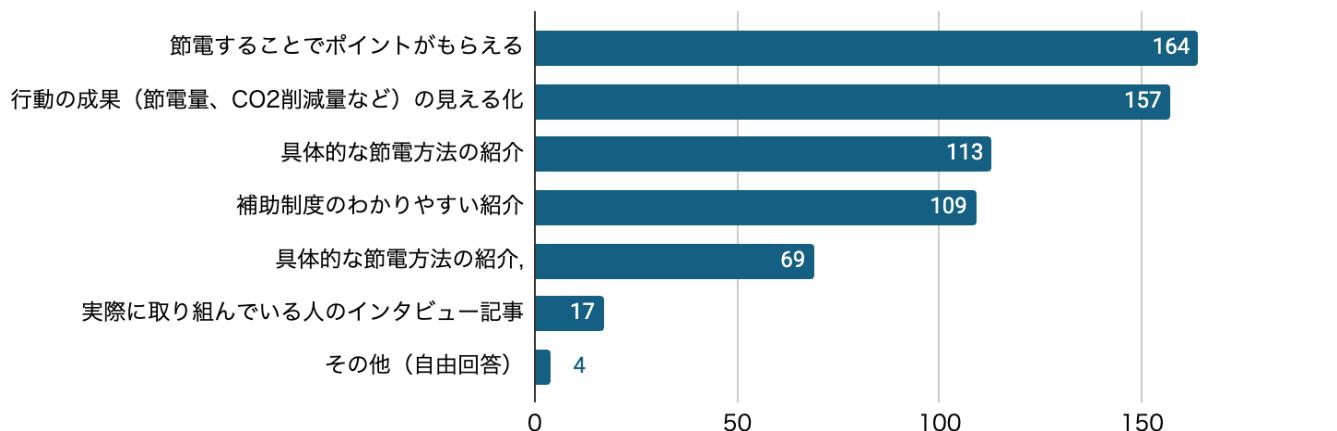


表 22-1

選択肢	回答者数	割合
節電することでポイントがもらえる	164	62.60%
行動の成果（節電量、CO2削減量など）の見える化	157	59.92%
具体的な節電方法の紹介	113	43.13%
補助制度のわかりやすい紹介	109	41.60%
具体的な節電方法の紹介、実際に取り組んでいる人のインタビュー記事	69	26.34%
実際に取り組んでいる人のインタビュー記事	17	6.49%
その他（自由回答）	4	1.53%

表 22-2

自由回答（一部）
電力会社の節電キャンペーンはいつも前日に翌日の節電タイムを知らせるメールが来て、リマインドかつベースメーカーになっている
電気代が安くなる

Q: 最後に、ご意見・ご要望などございましたらご入力ください。

回答があったものの一部を掲載しています。

表 23

電力量の見える化機器について
どの家電を使うとどれくらい上がるかなどがわかり、気を付けるようになりました。夏だったので、エアコンの節電はあまりできませんでしたが、今後の節電をしていこうと思いました。モニターに参加させていただき有難かったです。
リアルタイムで電気量をチェックできると面白くて、何度も見ては対策しちゃいました。楽しかったです。
省エネを進めるために、簡便にリアルタイムの消費電力を知りたいと思っていたので、今回の省エネ事業は大変助かりました。個別の主要家電の消費電力の見える化ができれば更に助かります。まだ実施していませんが、パソコンにデータをダウンロードして、データを整理できるようになれば良いなと思っています！
毎日のように使用量を見て楽しく節電をすることができました。私の場合は特に待機電力が多いことに気付き、それを数値で見られることによって、これから電気の使い方に変化が出ると思います！
省エネの第一歩は見える化なので、アプリの見やすさと遠隔でも監視出来るのは良かった。一方で実際に省エネを行うにはやはり機器との連動が無いとなかなか実現出来ないとも感じた。今回のモニターでは、エアコンの電気代は言うほどかからないという仮説が証明出来たので、むしろ積極的に使用するマインドになってしまった面もある。省エネとは逆行するが、我慢して熱中症になるリスク回避にも使えるかも。
高齢のため、お借りした機器の方にもエアコンの自動制御があれば尚良かった。
お借りして我が家は節電には繋がって良かったが、電力を見るだけに 5000 円（アンケートで 5000 円以下とあったため）でこの機器を購入するかというと、使ったことがない人には、高く感じるような気がする。
エアコンの自動制御機器について
ペットを家に残して外出する時間が長いので、部屋の温度を確認しながらも節電もできて、本当にありがたかったです。室温を確認できなければ、少し寒いぐらいに温度を設定して外出するしかなかったとおもいます。これからも活用させていただきます。
遠隔で家電製品のコントロールが出来る様になり、今回のモニター施策にはとても感謝しております。今後も継続使用しながら、無理ない節電に努めたいと思います。この度は、本当にありがとうございました！
オートエコ機能になると暑い。調整してほしい。
室内が暑いのでチェックすると室温 29.5°C で設定が勝手に暖房になっていたりして、その部屋を冷やすために手動で冷房を入れたりしたので、かえって電力を使っていたと思われます。また、省エネのために就寝前や外出前はリビングのエアコンを送風 1 時間後に切ると設定しても、朝起きたり帰宅した時にエアコンの電源が切れていたことはありませんでした。拙宅に関して言えば、昨年夏より省エネを実現することはできませんでした。
他のスマートデバイスと連動して、エアコン、テレビのオンオフが声でできたので、とても便利だと感じた。年数が古い照明や扇風機は、感知しなかったので、自動で操作が出来ず、残念だった。エアコンが複数台あっても一台にしか反応しなかった。複数台のエアコンにも反応してくれたら、嬉しかったが、残念だった。
一人暮らしのワンルーム等は管理しやすいが、家族や部屋数が多い場合には、全ての機器を管理しにくい。
機器の設置・設定、その他
B ルートの取得が面倒くさかったので、そこは改善して欲しい。
最初の設定のための説明書がわかりにくすぎるので改善してほしい
デジタル機器の操作に不慣れな者、特に高齢者には冊子などで操作方法を丁寧に知らせてほしい。
コンセントの位置が悪く、設置場所に気を使った。

毎週のメールや通知は気づきませんでした。電力グラフ自体は前契約していた電力会社のマイページにあり、あまり新鮮味がなく、すぐに見なくなってしまい、忘れていました。最初はプラグを抜くなどの意識はしていました。

※自由記述回答については、類似回答や選択肢と重複する回答等は集約したうえで一部を掲載しています。

※固有の企業名や商品名については伏せて掲載しています。